

平成28年度
四倉中学校

学校だより

2月22日(水) 第39号

文責 校長 中根 猛

県立高校Ⅱ期選抜出願完了そして卒業式に向けて

県立高校Ⅱ期選抜の出願を2月15日(水)に行いました。市内外11の高等学校に63名が出願しました。出願は、17日(金)正午で締め切られました。その後、20日(月)から22日(水)正午までの期間で出願先の変更が行われました。3月8日(水)の入試日まで、2週間余りになりました。入試に向けて心を落ち着けて学習のまとめをする時になってきました。「学力は、テスト前日まで伸びる」を信じて学習に励んで下さい。今まで学習してきた問題集や参考書を使って丁寧に復習をして知識を確実なものにしてください。また、インフルエンザの流行期でもあります。体調管理に努めてベストな状態で受験に臨めるようにお願いします。万が一、インフルエンザに罹患した場合でも、別室での受験ができますので、その場合は、担任の先生へ御連絡下さい。どんなことがあってもあきらめない、合格を勝ち取るという強い気持ちで臨んで下さい。

また、卒業式に向けて学年練習や全体練習が開始されました。最初の全体練習が2月20日(月)の5、6校時に行いました。卒業式に臨む心構えや服装、礼法の指導の後に式歌の練習を行いました。式歌は、在校生が「そのままの君で」を歌い、卒業生は「旅立ちの日に」を歌います。全体で練習するのは、初めてでしたがのびやかで大きな歌声が体育館に響きました。とても上手に歌い上げていました。折り目正しい態度と素晴らしい歌声で厳粛な中にも真心がこもった素晴らしい卒業式ができると確信しました。

来年度前期生徒会役員が選出されました

2月21日(火)の5、6校時に生徒会役員立会い演説会と選挙を行いました。会長、副会長、男子書記、3年庶務が信任投票で、女子書記と2年庶務がそれぞれ2名の立候補になり選挙により選出されることになりました。

立会い演説は、各候補者ごとに立候補責任者による応援演説と立候補者の演説の順番で行われました。候補者の経歴や良さを熟知した責任者は、言葉を尽くして良さを力強くアピールしていました。また、立候補者は、公約を2～3点にまとめ分かりやすく訴えかけました。どの応援演説者も候補者も大変分かりやすくそして、心がこもった素晴らしい演説をしました。

底冷えのする体育館でしたが生徒の皆さんは、真剣に演説に耳を傾けていました。聞く態度もとても立派でした。期待感をもって投票できたと思います。ある候補者の「期待の一票をお願いします」の訴えがよみがえってきました。

演説会の後、各教室に戻って投票用紙に記入をして各学年の廊下に設置された投票箱に投票しました。私語を慎み厳正な選挙が行われました。その結果、信任もしくは選出された役員の皆さんと公約を紹介します。四倉中学校のリーダーとして、いわき市生徒会長サミットのメンバーとして、皆さんの活躍に期待いたします。

○会長 千葉奈央さん(2-2)

・各委員会活動を生徒一人一人の活動に広めていく。・生徒会新聞を月一回発行し、誰かのために活動している人を応援したい。・思いやりの心であふれた四倉中にしたい。

○副会長 石川 舜君(2-3)

・あいさつの活性化のために自分から進んで実行したい。・ゴミ拾いボランティアを校舎内まで広め、より一層過ごしやすい環境整備に努める。・生徒会役員として自覚をもち責任ある行動をとる。

○副会長 前川夏穂さん(2-1)

・学校委員会を月一回開催し、委員会活動を活発にする。・心を込めてあいさつを交わす学校にする。・問題点に敏感に気づき改善に努める。

○書記 絹和 快君(1-4)

・進んであいさつができたり、ゴミを進んで拾うような他の学校の人から褒められるような学校にする。・新1年の模範となる明るく礼儀正しい先輩になる。

○書記 西塚美風羽さん(2-3)

・意見箱の活用を工夫する。・明るいあいさつがあふれる学校にする。あいさつ運動の活性化のために呼びかけを行い自ら進んであいさつをする。

○庶務 本間 麗さん(2-3)

・あいさつ運動を活性化する。自ら率先してあいさつを行う。・委員会活動を見直しより活発にする。

○庶務 愛川和輝君(1-4)

・新1年生を正しく導ける先輩になる。・返事やあいさつを素早く返せる学校にする。・身だしなみがきちんとできる学校にする。

